

## 専攻科介護福祉専攻 教育課程編成の方針（カリキュラムポリシー）

CP I：教養「キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を再構築する」
CP II：原理「多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養う」
CP III：知識・技能「高齢者と高齢者を取り巻く環境を知り、様々な介護の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける」
CP IV：実践「学んだ価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積みながらキャリア形成の基礎を培う」

## 専攻科介護福祉専攻 カリキュラムマップ

後期	キリスト教社会倫理	介護の役割（通年） 介護実践の基本（通年） 介護サービスの理解（通年） 介護過程の基本（通年） 生活と社会福祉	医療的ケアⅡ 自立に向けた家事介護 自立に向けた移乗介護 自立に向けた清潔介護 コミュニケーション技術の応用	介護福祉士国家試験 事例研究発表 介護総合演習Ⅱ 介護実習Ⅱ ボランティア活動
前期		介護の役割（通年） 介護実践の基本（通年） 介護サービスの理解（通年） 介護過程の基本（通年） 生活支援の基本 障がいの基本的理解 高齢者の介護予防 ここからだのしくみ	医療的ケアⅠ 自立に向けた食事介護 自立に向けた移動介護 コミュニケーション技術の基本	介護総合演習Ⅰ 介護実習Ⅰ ボランティア活動
	科目群Ⅰ：教養	科目群Ⅱ：原理	科目群Ⅲ：知識・技能	科目群Ⅳ：実践

## 専攻科介護福祉専攻 カリキュラムコンセプト

後期	科目群Ⅰ・Ⅱ 教養・原理	科目群Ⅲ 知識・技能	科目群Ⅳ実践 「実習Ⅱ（高齢者・障がい者施設）」「ボランティア活動」	ポートフォリオの取り組み （アドバイザーによる継続的なポートフォリオ取り組みサポート）	科目群Ⅳ実践 「介護福祉士国家試験」
前期			科目群Ⅳ実践 「実習Ⅰ（高齢者・障がい者施設）」「ボランティア活動」		
保育士資格取得科目〔教養科目〕〔専門必修科目〕					

## 専攻科介護福祉専攻

### 「介護福祉士としての資質向上俯瞰図と本学開講科目の関係対照表」

介護福祉士取得時の到達目標	求められる知識・技術の理解	和泉関連科目
1. 他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の理解</li> <li>・利用者への生活環境の理解</li> <li>・共感的理解</li> <li>・生活場面における面接方法</li> <li>・自己覚知と個人の価値観</li> <li>・価値観の相違と理解</li> </ul>	キリスト教社会倫理 生活と社会福祉 介護の役割 介護サービスの理解 介護実践の基本 コミュニケーション技術の基本 コミュニケーション技術の応用 認知症の理解
2. あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術を修得する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援技術の修得</li> <li>・家事介護の理解</li> <li>・障がい者への支援</li> <li>・認知症をもつ利用者への支援</li> <li>・難病をもつ利用者への支援</li> <li>・介護予防</li> <li>・リハビリテーション</li> <li>・看取り介護</li> <li>・感染症の理解</li> <li>・医療行為の理解</li> <li>・緊急時の対応</li> <li>・後期高齢者医療制度</li> </ul>	コミュニケーション技術の基本 コミュニケーション技術の応用 生活支援の基本、終末期の介護 自立に向けた居住環境の整備 自立に向けた移動介護 自立に向けた食事介護 自立に向けた清潔保持の介護 自立に向けた排泄介護 自立に向けた家事介護 障がい者の生活支援 高齢者の介護予防 認知症の介護 ことごとからだの介護 医療的ケアⅠ・Ⅱ
3. 介護実践の根拠を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護実践の根拠の理解</li> </ul>	介護サービスの理解 介護実践の基本 人間の発達と老化 認知症の理解 障がいの基本的理解 ことごとからだのしくみ
4. 介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義について理解できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護を必要とする人の理解</li> <li>・障がい者の理解</li> <li>・潜在能力の発見・引き出し・活用</li> <li>・自立と自律の概念</li> <li>・個人の多様性の重視</li> </ul>	介護サービスの理解 介護実践の基本 生活支援の基本 高齢者の介護予防 自立に向けた居住環境の整備 認知症の介護 障がい者の生活支援
5. 利用者本位のサービスを提供するため、多職種協働によるチームアプローチの必要性を理解できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者本位のサービスの意味</li> <li>・多職種協働</li> <li>・チームアプローチの必要性</li> <li>・ノーマライゼーション</li> <li>・コミュニティーケア</li> <li>・ケース・マネジメント</li> <li>・スーパービジョン</li> <li>・インフォームド・コンセント</li> <li>・コンサルテーション</li> </ul>	介護の役割 介護サービスの理解 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ

6. 介護に関する社会保障の制度、施策についての基本的理解ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保険制度（医療・年金）</li> <li>・介護保険制度</li> <li>・障害者自立支援法</li> <li>・成年後見制度</li> <li>・日常生活自立支援事業</li> </ul>	生活と社会福祉 介護サービスの理解 介護実践の基本 障がいの基本的理解
7. 他の職種の役割を理解し、チームに参画する能力を養う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他職種の役割の理解</li> <li>・介護職と他職種との連携</li> </ul>	介護サービスの理解 介護実践の基本 医療的ケアⅠ・Ⅱ
8. 利用者ができるだけなじみのある環境で日常的な生活が送れるよう、利用者ひとりひとりの生活している状態を把握し、自立支援に資するサービスを総合的、計画的に提供できる能力を身につける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域（在宅）での居住環境</li> <li>・施設での居住環境</li> <li>・利用者の状態把握</li> <li>・個別ケアの実践</li> <li>・利用者の自立支援</li> <li>・利用者の情報収集に関する能力向上</li> <li>・介護計画立案に関する能力向上</li> <li>・実習を通しての実践・評価</li> <li>・災害・防災</li> </ul>	生活と社会福祉 自立に向けた居住環境の整備 介護総合演習Ⅰ・Ⅱ 介護過程の基本 介護過程の演習A・B 介護過程の実践 介護実践の基本
9. 円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション技術の方法の理解</li> <li>・利用者・家族、チームに対するコミュニケーションの理解</li> <li>・障がい形態に応じたコミュニケーションの理解</li> </ul>	コミュニケーション技術の基本 コミュニケーション技術の応用 障がい者の生活支援 認知症の介護 終末期の介護
10. 的確な記録・記述の方法を身につける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録のまとめ方</li> <li>・記述力・分析</li> <li>・読解力</li> <li>・個人情報保護</li> <li>・情報の管理</li> </ul>	介護過程の基本 介護過程の演習A・B 介護過程の実践 介護実践の基本 医療的ケアⅠ・Ⅱ
11. 人権擁護の視点、職業倫理を身につける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権の尊重</li> <li>・人権擁護</li> <li>・生存権保障</li> <li>・説明責任と応答責任</li> <li>・介護職の職業倫理</li> <li>・専門職と職業倫理</li> </ul>	介護の役割 介護サービスの理解 介護実践の基本 認知症の理解

上記の表は、厚生労働省の介護福祉士取得時の到達目標を基に、介護福祉士としての資質を加えて再構築した